

平成 29 年度学校保健統計調査結果速報(山形県の概要)について

調査結果のポイント

発育状態：身長、体重は、男女ともほとんどの年齢で全国平均を上回っている。

肥満傾向児出現率は、男女ともほとんどの年齢で全国平均を上回っている。

健康状態：むし歯（う歯）の者の割合は減少傾向にあり、裸眼視力 1.0 未満の者の割合、ぜん息者の割合は増加傾向にある。

<調査結果の概要>

1 身長（平均値）

- ・ 男子はすべての年齢で、女子は 17 歳を除く各年齢で、全国平均を上回っている。
- ・ 男子は 5 歳で全国 1 位、6 歳で全国 2 位、15 歳で全国 3 位。
- ・ 女子は 12 歳と 16 歳で全国 1 位、5 歳で全国 2 位、8 歳と 15 歳で全国 3 位。
- ・ 平均値の推移をみると、男女ともに昭和 23 年度以降、伸びる傾向にあったが、近年はほぼ横ばい傾向となっている。

2 体重（平均値）

- ・ 男女ともにすべての年齢で、全国平均を上回っている。
- ・ 女子は 12 歳で全国 1 位、8 歳と 10 歳で全国 3 位。
- ・ 平均値の推移をみると、男女ともに昭和 23 年度以降、増加傾向にあったが、近年はほぼ横ばい傾向となっている。

3 裸眼視力（裸眼視力 1.0 未満の者の割合）

- ・ 前年度と比較すると、小学校では同じ割合であるが、中学校及び高等学校では増加している。
- ・ 小学校では全国平均を下回っているが、中学校及び高等学校では上回っている。
- ・ 年齢別にみると、年齢が進むにつれて割合は高くなる傾向にある。

4 鼻・副鼻腔疾（患鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎等）の者の割合）

- ・ 前年度と比較すると、小学校では減少しているが、幼稚園、中学校及び高等学校では増加している。
- ・ 幼稚園、小学校、中学校及び高等学校のすべてで全国平均を上回っている。

5 むし歯（う歯）（むし歯（う歯）の者の割合）

- ・ 前年度と比較すると、小学校、中学校及び高等学校では減少しているが、幼稚園では増加している。
- ・ 幼稚園及び小学校では全国平均を上回っているが、中学校及び高等学校では下回っている。
- ・ 平成に入ってからからの推移をみると、すべての学校種別で減少傾向にある。

6 ぜん息（ぜん息の者の割合）

- ・ 前年度と比較すると、幼稚園、小学校及び高等学校では減少しているが、中学校では増加している。
- ・ 幼稚園、高等学校で全国平均を下回っているが、小学校及び中学校では上回っている。
- ・ 平成に入ってから推移をみると、すべての学校種別で増加傾向にある。

7 肥満傾向児の出現率

- ・ 男子は17歳を除く各年齢で、女子は5歳及び7歳を除く各年齢で全国平均を上回っている。
- ・ 男子は11歳及び14歳で全国3位、女子は10歳で全国1位、12歳で全国2位。

8 痩身傾向児の出現率

- ・ 男子は7歳、9歳から13歳及び17歳を除く各年齢で、女子は6歳で全国平均を上回っている。

学校保健統計調査とは

- 1 目的：学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすること。
- 2 調査対象：国立、公立、私立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校の満5歳から17歳までの児童等の一部（抽出調査）。
抽出率 発育状態：全幼児、児童及び生徒の11.1%（13,118人）
健康状態：全幼児、児童及び生徒の47.6%（56,432人）
- 3 調査事項：学校保健安全法により実施される健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）を調査。
- 4 調査時期：平成29年4月1日から6月30日の間に実施。
- 5 公表時期：速報 平成29年12月22日
確報 平成30年3月 学校保健統計調査結果報告書（文部科学省）